

## 簡易型のり面地質調査工法 ソイルサンプラー工法

NETIS登録番号：(旧) KT-150099-A

## ソイルサンプラー工法研究会

〒377-0003 群馬県渋川市八木原224-14 (株式会社高特内)

TEL 0279-22-2035 FAX 0279-23-3913

URL <https://sscm-g.com/>



ソイルサンプラー工法



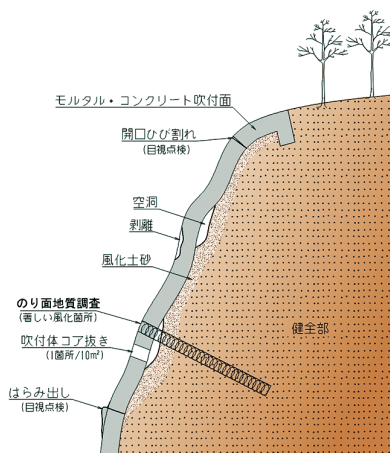
施工事例：軌道上での調査

### 概要

のり面地質調査の「ソイルサンプラー工法」は、経年変化等によって老朽化したモルタル・コンクリート吹付工の背面・地山からコアを採取し地質構成を直接観察できる地質調査工法。採取したコアにより硬さ、色、地盤構造、風化深度など多くの情報を得られ、法面の崩壊・崩落などの災害を未然に防ぐ対策工の設計に反映できる。

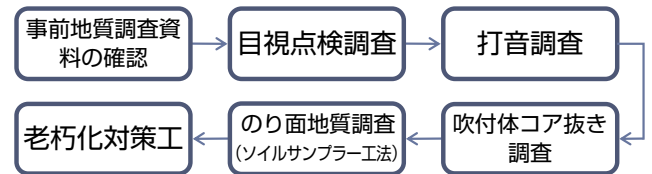
### 特長

- ・地質調査機は小型・軽量で、引き上げ用の車輪（収納式）、簡易足場を装着しているため、モノレール・索道による現場内小運搬、足場の設置が不要であり、コストダウンとともに工期や交通規制を大幅に削減できる。
- ・調査機の設置は、小型ウインチで調査地点まで引き上げ、コンクリートアンカー等で吹付面（壁面）に固定する。また、ウインチおよびアンカーによる二重の固定機能を有することで、施工性ととも安全性に優れている。
- ・表層崩壊の地質調査に対応できる5m程度のせん孔が可能である。また、のり面（地表面）に対し直角なコアの採取とともに、立地条件や勾配、地質など変化が著しいのり面に対して、多点調査が容易にできる。



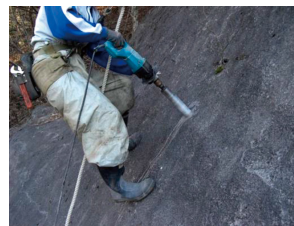
老朽化のり面概要図

### 老朽化のり面の調査フロー



#### ●吹付体コア抜き調査

吹付体の厚さ、空洞の程度、風化状況を確認。必要に応じて強度試験、中性化試験を行う。



吹付体コア抜き



吹付体コア(15cm)



空隙状況確認

#### ●のり面地質調査 (ソイルサンプラー工法)

地質調査機 (ソイルサンプラー) を用いて、モルタル吹付背面・地山の緩み、風化深度、岩組織、亀裂などを調査する。対象となるのり面の形状、変状箇所、コア抜きの結果等から、地山の風化が進行している箇所を特定し調査する。



せん孔状況



採取した試料 (コア)